

R5年度 長野市障害ふくしネット(協議会)情報

Vol.8

発行日:2023年11月28日

今年度第8号のふくしネット情報です。ふくしネットフェスタが無事開催されました。当日の様子はPickUp欄をご覧ください。12/22には全体協議会を行う予定です。こども家庭庁ができ、子ども施策が大きく変わる中で障害がある子どもを取り残さないよう、「障害のある子ども」をテーマとした研修を開催します。インクルーシブ教育を通じてインクルーシブ社会を実現するにはどうしたらいいか考える機会となるかもしれません。ぜひご参加ください。

<10~11月開催された部会の状況>

部会・ワーキンググループなど	開催報告	次回開催予定
かつどう部会	<p>開催日:11月17日(金)ふれあい福祉センター5階ホールにて テーマ「地活連絡会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同作業所等から地活が出来た話と、地活の現状について運営費も含めた課題について話をした。3グループに分かれそれぞれケースを持ち寄りケース検討と地活のあり方について話し合った。グループワークの結果をまとめ、地域活動支援センター各事業所にメール配信する予定。 	開催予定日 未定
ケアマネ連絡会	<p>開催日:11月1日(水)ハーモニー桃の郷にて/11月14日(火)もんぜんぶら座にて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくしネットについて(各部会の開催状況や地域課題WG等) ・ふくしネットフェスタについて(振り返り) ・長野県自立支援協議会フォーラムの報告・情報共有 ・長野市障害福祉計画・長野市障害児福祉計画について。 ・地域課題B群・C群について検討[地域生活支援拠点とその機能の確認、機能の整理、評価の必要性について] 実際の相談事例や部会等での検討事項から、地域生活支援拠点・地域移行について、具体的に想定される場面を場合分けして、ニーズを検討しながら地域課題を整理していく。 	<p>開催予定日 12月6日(水) 場所:ハーモニー桃の郷 12月19日(火) 場所:もんぜんぶら座 各10:00~</p> <p>参加対象者:長野市、長野市障害者相談支援センター</p>
医療的ケア支援委員会	<p>開催日:11月20日(月)にじいろキッズらいふ テーマ「令和5年度第2回医療的ケア支援委員会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題WGより、医ケア児の移送WG報告 ・看護師研修WG(施設間研修実施について12~3月を予定、調整する) ・地域資源マップWG(医ケア児の災害時の避難、支援など) ・情報交換 	<p>開催予定日 2月22日(木)10:00~ 場所: テーマ:第3回医療的ケア支援委員会</p>
運営委員会・部会長連絡会 合同会議	<p>開催日:11月10日(金)長野市ふれあい福祉センター5階</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふくしネットフェスタの振り返り 開催実績報告/準備や運営時の所感 など ○第一回全体協議会について 講演内容等について/役割分担、タイムスケジュールについて ○第7期長野市障がい福祉計画・第3期長野市障害児福祉計画(案)について 概要の説明、12月中に部会から意見をもらう予定 ○長野県自立支援協議会へ提出する地域課題について 	開催予定日 未定

Pick Up!

☆医ケア委員会主催・オンライン研修「災害時の感染防止対策について」☆

令和5年12月7日(木)18:00~19:30 オンラインにて
講師:丸石製薬 営業本部 尾土平整 氏

☆ふくしネットフェスタ2023を開催しました☆

障害者週間(12月3日～9日)に向けた障害理解のための啓発イベントということで、10月25日(水)26日(木)長野市役所・長野市芸術館にて、ふくしネットフェスタを開催しました。早くから部会担当者が集まり、協力しながらそれぞれの開場準備・運営をしました。

映画「星に語りて」を上映。「障害者の当時の惨状を知る事が出来た」「涙を何回流したか分かりません」等感想がありました。

東日本大震災での
障害者と支援者の
物語を上映



販売は11団体が出店し、大変な賑わいで「障害者の活動が市民に伝わった」「活気に溢れていた」等、好評でした。

お昼時には大勢の
お客さんでイート
インが一時満席に



展示は2日間開催され、281名が来場。「作品からうったえるものを感じた」「【ほっこりした話】は持ち帰りたい位だった」等の感想をいただきました。

展示スペースに
並ぶ人々



展示パネルや照明の準備のため、高所作業も自分たちで



当日実行委員が手分けをして市役所に来られた方にチラシを配布しました。

「このような障害のある方と接する機会が持ててよかった」「障害という響きが好きではない。個性としてとらえもっと違う言語があれば」といった嬉しい感想もいただきました。「市役所へ来たらやっていた、もっと広報をしたらどうでしょう」といったお声を頂戴しました。今後はさらに障害理解の啓発に取り組んでいきたいと思ひます。